

令和6年度 指定管理者モニタリングチェックシート

評価期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日		
施設名	若山牧水記念文学館、若山牧水生家	指定管理者名	日向若山牧水顕彰会
所管課	文化・生涯学習課	指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日

自己評価 (指定管理者が記載)	令和6年度は、令和7年度の若山牧水生誕140年及び若山牧水記念文学館開館20年の記念の年を前に、記念事業等の計画期間とした。常設展示室では牧水遺墨の定期的な入替展示、高森文夫直筆原稿の展示を行い、企画展示室では、令和7年度の記念事業計画業務に重点を置いたため、新たな企画展示は行わず、過去に実施した内容を再構成した企画展を行った。その他ギャラリーでの展示等は例年通り開催することができた。資料蒐集・保管については、牧水遺墨の購入他、牧水関連の写真帖、書籍等の寄贈を受け保管した。顕彰普及事業については、牧水祭、青の國若山牧水短歌大会、短歌実作講座、出前講座の実施、文学館だよりの発行など顕彰活動の広報等情報発信に努めた。来館者に対しては、場に応じた対応など適切な接遇に努めるとともにアンケート、来館者カードの意見等を反映したサービスの向上を図った。入館者数は、前年度からは微増であったが、有料入館者は減少しており、開館時からすると依然として減少傾向にある。交通手段が不便なことも要因となっており対策が必要である。記念施設管理運営は、前年度同様ウクライナ情勢、急激な円安等による物価高騰により管理経費が増加傾向ではあったが、適切な修繕の実施、消耗品、光熱水費等需用費の節減を図るなど適正な維持管理に努めた。
--------------------	---

評価項目		評価内容	評価		確認資料等
			指定管理者	市	
① 利用状況・サービス向上	施設（サービス）の利用状況	利用者数が前年度実績や目標を上回っているか。施設の稼働率はどうか。	B	B	日報、月報、事業報告書
	施設の平等利用	利用者の平等な利用が確保されているか。	A	B	日報、月報、利用者アンケート
	苦情・要望等への対応	苦情、要望等を施設の管理運営に反映できているか。また、苦情数は減少しているか。	A	B	利用者アンケート
	利用者満足度	利用者アンケートは適切に実施されているか。その結果を施設の管理運営に反映できているか。	A	B	利用者アンケート
	サービス向上への取り組み	サービス向上に向けた具体的な取り組みがあるか。（自主事業の周知、接客態度、予約方法の工夫等）	B	B	日報、月報、事業報告書
	自主事業の実施状況	施設の設置目的に沿った自主事業を実施できたか。また、それによって施設利用者は増加したか。	B	B	日報、月報、事業報告書
	①の総括		B	B	
② 管理能力	人員配置の状況	事業計画書の通り人員が配置されているか。必要な資格や経験を有する人員が確保されているか。	B	B	人員配置計画、出勤簿、実地
	人材育成の状況	事業計画書の通り従業員の指導育成及び研修が行われているか。	B	B	研修マニュアル
	コンプライアンスについて	関係法令や市条例、市規則、その他市が定める規程及び仕様書に基づき適切に業務を遂行しているか。	B	B	業務ガイドライン等、実地
	従業員の労働環境	労働法令の遵守や労働条件への配慮がなされているか。	B	B	実地、出勤簿
	外部委託等の状況	業務の全部又は主たる業務を第三者に請け負わせていないか。	A	B	実地
	防犯、防災に対する態勢	避難経路の確保や事故防止策など、緊急事態への対策ができているか。	A	B	実地
	緊急事態に対する態勢	安全・衛生管理や危機管理に対するマニュアル等の整備や従業員の訓練する等、適切に行われているか。	B	B	危機管理マニュアル等、実地
	個人情報の保護	個人情報保護の規程を整備する等、研修や運用等の適切な対応がなされているか。	B	B	個人情報保護マニュアル等、実地

評価項目		評価内容	評価		確認資料等
			指定管理者	市	
	情報公開の規程状況	情報公開の規程を整備する等、研修や運用等の適切な対応がなされているか。	B	B	情報公開マニュアル等、実地
	文書管理について	作成受領した文書は適切に保管及び管理されているか。	B	B	実地、保存文書
	環境への配慮	環境に配慮した物品の購入、省エネの取組、リサイクルの推進等の対応を適切に行っているか。	A	B	日報、月報、実地
	②の総括		B	B	
③維持管理・経理状況	施設、設備等の管理状況	消防設備、機械設備の保守点検や施設の修繕等を適切に行っているか。	A	B	日報、月報、点検報告書、実地
	清掃、警備業務の実施状況	仕様書等に基づき、清掃業務、警備業務を適切に行っているか。	A	B	日報、月報、実地
	備品等の管理状況	備品台帳に基づき、備品等を適切に管理・保管しているか。	B	B	備品台帳、実地
	指定管理業務の収支状況	収支状況が当初の目標を達成しているか。（利用料金、委託料等の実績）	B	B	日報、月報、事業報告書
	自主事業の収支状況	自主事業の収支状況が当初の目標を達成しているか。	B	B	日報、月報、事業報告書
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行しているか。	B	B	日報、月報、事業報告書
	経費削減の取り組み	経費削減の取り組みが行われ、成果があらわれているか。	A	B	日報、月報、事業報告書
	③の総括		B	B	
総合評価		①、②、③の総括による総合評価	B	B	

※総合評価の理由	協定書や仕様書に基づき概ね良好な管理運営が行われています。 入館者数は前年度から47人増加しましたが、例年入館者の多い10月、11月の入館者が伸び悩んでいます。集客の核となる企画展は、令和7年度に向けて過去の企画展を再構成したものの展示のため目新しさに欠けたことも一因と考えられます。行楽シーズン等、時機を捉えた企画展を実施することが必要であり、今後も展示内容を工夫しながら、顕彰活動の推進及び集客に努めていただきたい。
※特記事項 (成果・課題等)	入館者数は微増となりましたが、このうち市内小中学校の「ふるさと再発見事業」を利用した児童・生徒を含む無料入館者が大きく増えたことが要因です。有料入館者数は223人減少しており、有料入館者を増やし、収入増に繋げていく取組が必要です。 また、現在、情報発信のためFacebookを使用していますが、InstagramやX（旧Twitter）等、若い世代の利用が多いSNSも活用しながら情報発信の強化に努めていただきたい。

※総合評価の理由及び特記事項（成果・課題等）は市所管課が記載します。

評価区分	評価基準	A（優良）＝協定書等を遵守し、その水準よりも優れた管理が行われた B（良好）＝協定書等を遵守し、その水準におおむね沿った管理が行われた C（課題含）＝協定等をおおむね遵守しているが、一部に課題が残る内容であった D（要改善）＝協定書等を遵守しておらず、改善が必要な内容であった
	総括	A（優良）＝評価基準が全てB以上であり、かつAが過半数以上である B（良好）＝評価基準が全てC以上であり、かつB以上が8割以上である C（課題含）＝評価基準が全てC以上である D（要改善）＝評価基準にDが含まれている

評価項目		評価内容	評価		確認資料等
			指定管理者	市	
	総合評価	A（優 良）＝総括が全てB以上であり、かつAが2つ以上ある B（良 好）＝総括が全てB以上である C（課題含）＝総括が全てC以上である D（要改善）＝評価基準にDが含まれている			